

「地域ヘルスプロモーション病院の実践」

公益社団法人 地域医療振興協会
台東区立台東病院
山田 隆司

1

日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services

第7回J-HPHカンファレンス2022 第2報

医療と介護に
ヘルスプロモーションを
実装化する
日本HPHネットワーク
ヘルスサービスの進化を目指して～

利益相反 (COI) 開示

日時 2022/ 11/12(土) 11/13(日)
両日とも
ハイブリッド
開催 13:00～17:40 8:30～13:00
※詳細は裏面参照

会場 TFTビル東館9階 (東京都江東区有明3丁目6-11)

参加費 [会場参加]
HPH加盟 12,000円/HPH非加盟 14,000円/大学生・大学院生 1,500円
[オンライン参加]
HPH加盟 12,000円/HPH非加盟 14,000円/大学生・大学院生 1,000円

演者名: 山田隆司

参加申込
抄録登録 2022年 9月1日(木)～10月19日(水) 必着

企画概要(案) ※変更する場合があります

1日目 2022年11月12日(土) 13:00～17:40

2日目 2022年11月13日(日) 8:30～13:00

●教育講演:「住居環境による健康リスク」
伊香賀 俊治氏(慶應義塾大学理工学部 システムデザイン工学科 教授)

●特別講演:「地域ヘルスプロモーション病院の実践」
山田 隆司氏(台東区立台東病院 管理者・病院長)

●ワークショップ WS1「今こそ地域診断 ～地域を知って、地域丸ごと健康に～」
WS2「やさしい日本語ワークショップ」
WS3「SDHを活かす職場、事業所のづくり方」

お問い合わせ先: 日本HPHネットワーク事務局 conference@hphnet.jp
担当事務局: 池田・坂本

2



公益社団法人地域医療振興協会は、
「わが国の地域医療の確保と質の向上」を目的に設立されました。
日本全国の地域、そこに住む人々、そして医療に携わる医療人の三者が幸せになれる
未来を作っていくため、地域医療振興協会は活動を行っています。

私たちの考える地域医療の定義

▶医療人、住民と行政が三位一体になって、
担当する地域の限られた医療資源を
最大限有効に活用し、継続的に包括的な
医療を計画・実践・評価するプロセス

私たちは、日本が元気になるよう、
力を合わせ持つる資源を最大限に活用し、
地域医療に全力で取り組みます

施設運営事業

医師派遣・支援事業

医療人材育成事業

設立等	昭和61年5月15日設立 許可＝厚生大臣・自治大臣 平成21年12月1日 公益社団法人として登記
会員数	正会員 1,656名 準会員 6名 賛助会員 個人 9名 法人 31団体 (令和4年4月1日現在)
目的	へき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって地域の振興に寄与することを目的とする
事業	(1)医学生のへき地医療研修活動の指導 (2)へき地医療における診療活動基準の研究と確立 (3)総合医の確立及び養成 (4)医療情報の提供 (5)地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催 (6)へき地等に勤務する医師等の職業紹介及び派遣 (7)関係行政機関との連絡、調整 (8)会報・会誌の発行 (9)へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療(介護を含む。)を支援する病院等の開設及び運営管理の受託 (10)前号の病院等と連携し又は同病院等を運営する上で必要とする児童のための社会福祉事業の実施 (11)へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の運営事業等の養成事業 (12)その他前条の目的を達成するために必要な事業

3

協会運営施設(複合施設・診療所・老健)

2017年4月1日現在



協会運営施設(病院)



医師の派遣事業

医療に困っている地域を支援する

地域医療振興協会には、毎年多くの自治体、施設から医師派遣の要請が寄せられています。協会では少しでも多くのご要望にお応えできるよう全力を尽くしています。2020年度では運営施設からの医師派遣による支援の実績は延べ 2,000 日弱。協会の職員である医師が力を合わせ、各地域の医療を支えています。職員による支援と併せて、広く公募して医師に登録を行っていただき、医師不足が深刻な地域に緊急臨時的に医師を派遣する事業も行っています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、協会全職員が一丸となって女川町支援に取り組み（救援派遣日数は延べ3,201人日（2011年9月30日現在））、2011年10月被災地域では初めて指定管理者として事業を開始。現在は女川町地域医療センターとして被災地の復興に努めております。

また、全国各地の医療機関にて撮影されたCTやMRIなどの画像情報を、ネットワークを利用し協会施設にて勤務する放射線科専門医にて診断を行う遠隔画像診断は、へき地の医療を支える大切な役割を担っております。



医師の研修・総合医養成事業

地域医療の要『総合医』を養成する

地域医療においては、様々な地域ニーズに応え、あらゆる問題に適切に対応できる総合医の役割が重要です。地域医療振興協会では、地域の様々な医療資源を活用した特色あるプログラムを用意し、地域医療を担う総合医の育成に取り組んでいます。

8つの基幹型臨床研修病院では初期研修医を受け入れ、山間へき地・離島での地域研修を取り入れるなど特徴ある研修を提供しています。また、専門研修（後期研修）として、地域の家庭医を育てる「地域医療のススメ」、アメリカ式教育手法での病院総合医の育成、そして各病院の専門科研修など、米国の大学とも連携し充実した研修プログラムを提供しています。

また、JADECOMアカデミーを発足し、地域医療を担う医療人を育成、活躍してもらうため、より一層力を入れていきます。

▶総合診療専門医・家庭医療専門医を養成する 専門研修プログラム「地域医療のススメ」



7

薬剤師養成事業

地域医療を共に支える薬剤師を養成する

地域医療振興協会の薬剤部会は全体で260人の薬剤師を超える大きな組織に成長しています。地域包括ケアシステムに代表される医療・介護の制度改革や医療の高度化など、病院薬剤師の取り巻く環境は変化しており、求められる役割は益々増加していくことが予想されます。薬剤師の資質向上は重要な課題です。

今年度より新人薬剤師の養成や教育を目的としたレジデント制度もスタートしました。卒後臨床実習など将来の薬剤師の育成にも力を入れています。

JADECOM薬剤師レジデント制度

地域医療振興協会 薬剤師Web見学開催中



看護師養成事業

地域医療を共に支える看護師を養成する

地域医療振興協会では、2012年度から「地域医療を共に支える看護師」を育成するため、看護学校を運営し養成を行っています。専門的な教育カリキュラムと併せ、協会の運営施設等を活用した看護実習を行い、患者様だけでなくそのご家族、地域に寄り添える看護師を育成しています。

また、NP・NDC研修センターでは、厚生労働省の事業である「特定行為に係る看護師の研修制度」に基づいた21区分38行為の研修と卒後教育で、高い臨床実践能力、判断力を持った『総合医』とともに、地域医療の要となる看護師を育成していきます。



さいたま看護専門学校



奈良市立看護専門学校
奈良市立大学の看護業務の委託



NP・NDC 研修センターのレクチャーの様子

JADECOM-NDC 研修センター

組織の名称を反映して、JADECOM-NDC (Japan Association for Development of Community Medicine-Nursing Designated Care) と命名し、当協会の理念『いつでもどこでも だれにでも』標準的な医療を提供できることをめざす医師を支援し、協会全体の看護力の向上、協会看護の魅力としての役割を期待しています。

8

地域医療研究所

◆ヘルスプロモーション研究センター

◆地域医療安全推進センター

◆地域看護研究センター

◆へき地医療支援センター

◆生涯教育センター

公益社団法人 地域医療振興協会

ヘルスプロモーション研究センターの活動

みんなの健康を、みんなで守る

1. 目指す姿

協会医療施設や自治体と協働して、保健と医療が連携した新しい仕組みを構築し、健康で元気に暮らせるまちづくりに取り組む。

2. 主な活動内容 – 5つの柱

医療施設と協働した
予防医療活動の推進事業

Health Promoting Clinic/
Hospitalの実現

自治体と協働した
健康づくりモデル事業

健康なまちづくりと地域振興
を目指した産官学連携事業

指導者の養成・
情報発信

ヘルスプロモーションに関する
指導者教育・情報発信

保健と医療をつなぐ
ネットワークの構築

ネットワーク構築と
保健医療政策へのコンサルティング

研究活動および
研究支援活動

ヘルスプロモーションの推進に
関する研究活動・支援活動

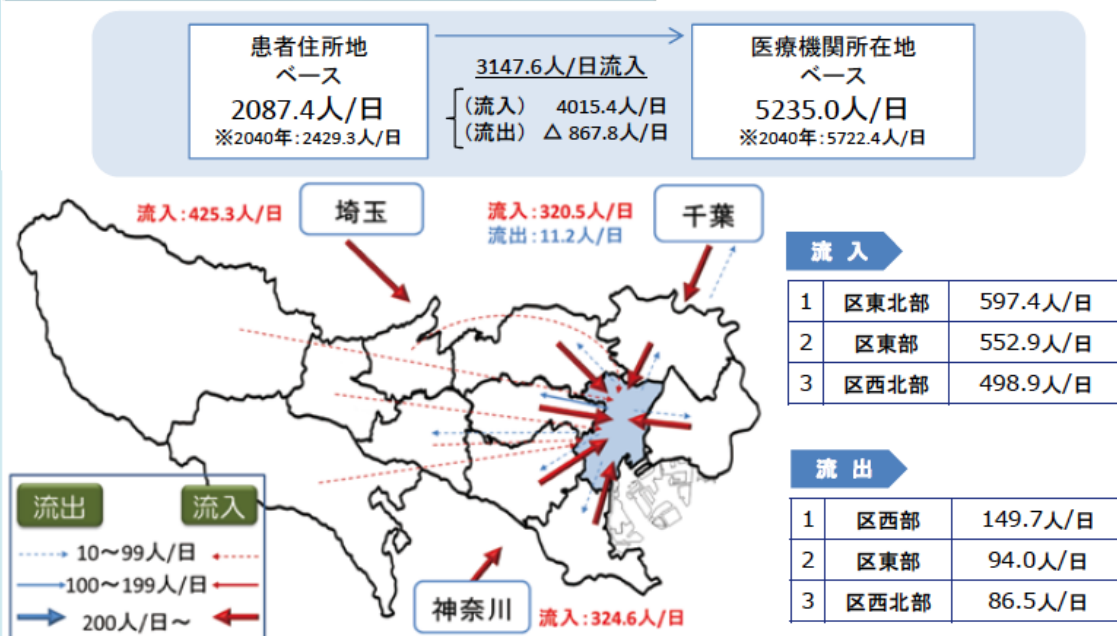


台東区立台東病院・老健「千束」

東京都 区中央部の医療環境

急性期機能

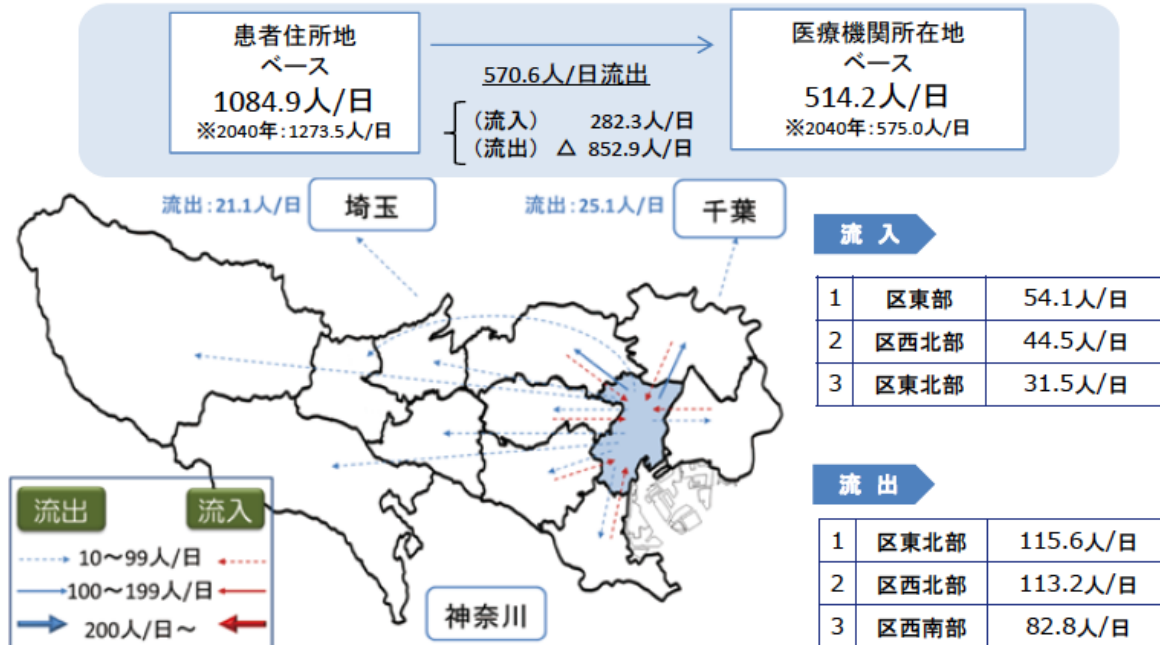
2025年推計患者数と流出入の状況



東京都 区中央部の医療環境

慢性期機能

2025年推計患者数と流出入の状況



台東区立台東病院 介護老人保健施設千束

開設 平成21年4月
 開設者 台東区
 管理運営 公益社団法人地域医療振興協会

病院 病床数 120床
 一般病床 40床
 回復期リハビリテーション病棟 40床
 療養病棟 40床
 老健 病床数 150床
 一般棟100床 認知棟50床

診療科 総合診療科、リハビリテーション科、眼科
 整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科



「ずっとこのまちで暮らし続けたい」 を応援します

高齢者医療に力を入れます。

- ・ 高齢者の皆さんの健康問題のすべてに対応していきます。

在宅医療を支援します。

- ・ 地域の患者さんが病院医療や施設ケアが必要になったときにその場を提供し、また在宅へ復帰できるようにサポートします。

まずは受け入れるという姿勢を持ちます。

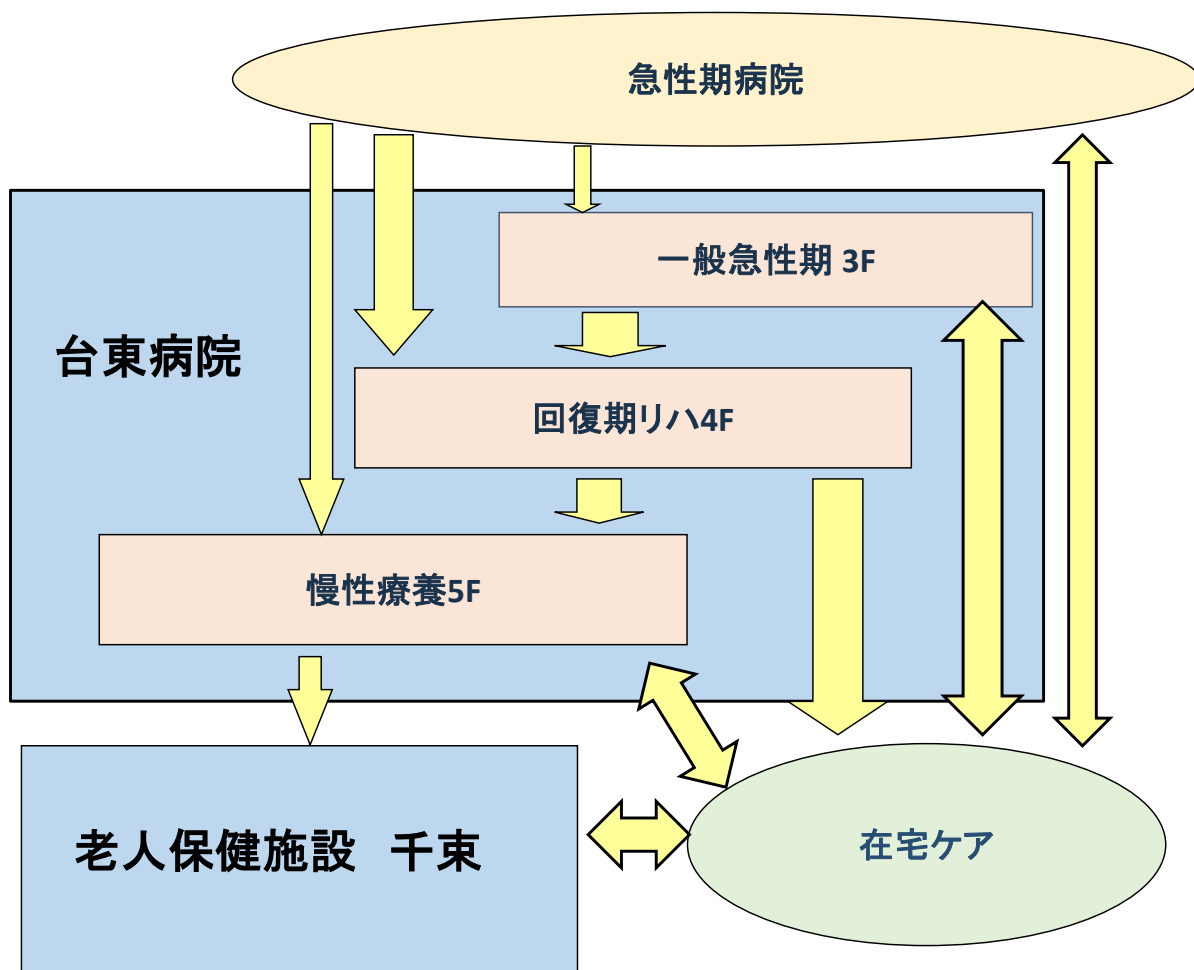
- ・ いつでも、まず受け入れる。そして必要に応じて他の医療機関へ紹介します。

地域と連携してサービスを提供します。

- ・ 台東区の医療機関チームの一員として力を発揮します。

恵まれない地域の医療支援を行います。

15



16

ヘルスプロモーション活動の立ち上げ

年度	活動方針	具体的な活動
2016年	・台東病院とヘルプロが協働するHPHの取り組みの検討を開始(4月から毎月1回会議開催) ・多職種連携による禁煙推進モデル事業の検討開始(6月～) ・職員研修会(WS)でヘルスプロモーションをテーマに講演会(11月)	・職員・入院患者の喫煙状況調査(6月) ・禁煙外来受診者の分析(7月) ・外来患者の喫煙状況調査(10月) ・喫煙職員のインタビュー調査(禁煙支援ニーズの把握)(3月)
2017年	・院内の健康推進に関する事業をマネジメントする委員会の設置を検討(4月) ・「健康推進委員会」の設置を院内で承認(8月) ・活動方針として、「介護(ケア)」「認知症」「フレイル予防」「禁煙推進」をテーマに、病院内での取り組みの充実と、行政や医師会、住民組織等の関係団体と協同した活動に取り組む	・職員対象のJADECOMけんぼの禁煙補助事業の試行実施(6月～1月) ・リハビリ外来患者の食環境整備を含めた食生活支援について女子栄養大学と検討開始(9月)
2018年	・HPHの病院としての活動宣言	・職員の食生活改善プロジェクト

17

プロジェクト

2016年03月～

ヘルプロTaitoプロジェクト



- ・地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターおよび女子栄養大学と当施設が共同したプロジェクト
- ・職員の禁煙推進プロジェクトを中心に実施

2017年04月～

健康推進委員会



- ・医師・看護師・リハビリテーション職・管理栄養士・事務局等の多職種をメンバーとした組織
- ・ヘルプロや女子栄養大学の教員および学生と共同で活動

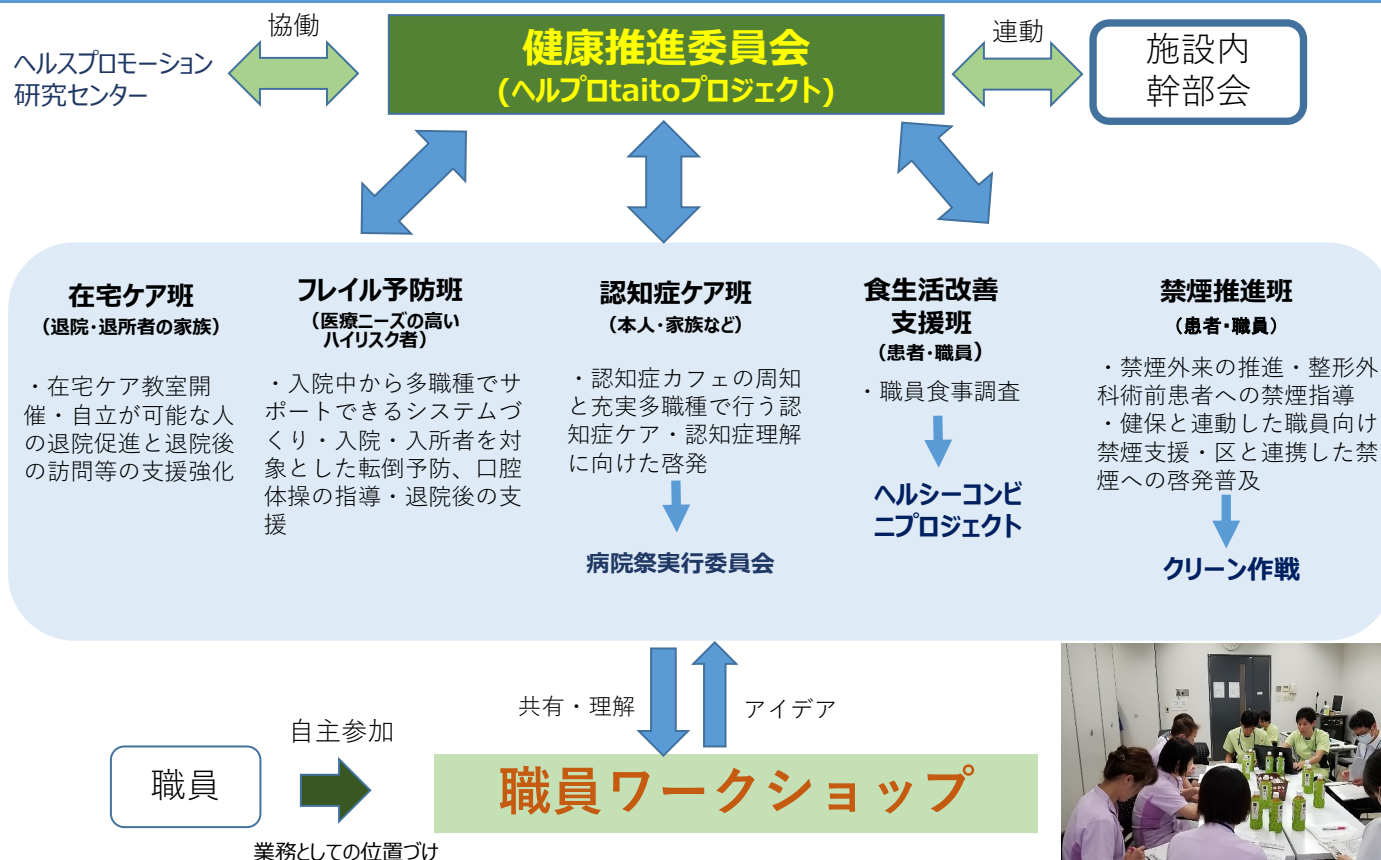
18

職員ワークショップ



19

ヘルスプロモーション活動推進体制



HPH 5つの活動

認知症

在宅ケア

フレイル予防

禁煙推進

食生活改善支援

認知症カフェ

認知症カフェ 喫茶You



認知症カフェ 喫茶YOU

日時 : 毎月第3土曜日

14時～16時

場所 : 病院エントランス

参加費 : 無料

対象者 : 地域の人なら誰でも

医療機関連携型

23

喫茶You プログラム

14:00～14:10



認知症予防体操

14:15～15:00



多職種による認知症に関する企画

15:00～15:30



ニーズ把握

お茶を飲みながらおしゃべり

15:30～



ニーズ把握

ボランティア募集

アンケート記入・解散

24

喫茶You 協力者



大学



消防署



警察署



区役所



児童館



病院



地域住民

地域を巻き込んだ認知症に関する企画

25

喫茶 You



地域住民によるコンサート



家族会との対談

26

喫茶 You



医師「身近な認知症」



介護用ロボットとの触れ合い

27

利用者アンケート



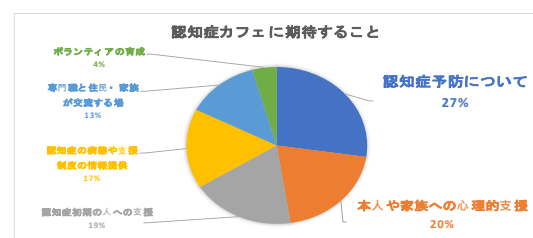
アンケート

目的：ニーズの把握
参加者層の把握

対象：参加者全員

- 基本属性
- 認知症カフェに期待すること
- 立場
- 認知症のイメージ
- 介護度
- 認知症になった場合の暮らし

アンケート 2017年4月～2020年2月



28

コロナ禍での認知症カフェ



- ・ 2ヶ月に1回の頻度で、人数を制限して開催
- ・ ハイブリット形式でも実施

29

介護予防・フレイル予防

30

専門職としての地域との関わり

平成29(2017)年 No.1177
3/20
 毎月5・20日発行

広報 **たいとう**

TAITO CITY
70th
 SINCE 1947

区の世帯と人口(3月1日現在)
 住民登録 前月比
 世帯数 114,138 (+126)
 人口 194,127 (+225)

発行 台東区 編集 総務部広報課 〒110-8615 台東区東上野4丁目5番6号
 ☎ 5246-1111 (代表) FAX 5246-1029 (広報課) ホームページアドレス <http://www.city.taito.lg.jp/>

みんなで楽しく!主役は地域の皆さんです!

元気の秘訣は「通いの場」



外に出る!
 はじめはおくうでしたが、今では行くのを楽しみにしています。

おしゃべりする!
 一人暮らしなので、ここへ来るととってもおしゃべりができてうれしい!

体を鍛える!
 杖を忘れるくらい、足の力がつきました。

問合せ 介護予防・地域支援課
 介護予防担当 ☎ (5246) 1205

いきいき百歳体操

90歳を超えてからも
 体力をつけることができます!

「年を取るにしたがって、腰もが弱って介護が必要になる」と思いませんか?
 「いきいき百歳体操」で「体力」をつけ、いつになっても元気でいきいきとした生活を送りましょう。

いきいき百歳体操は
 どんな体操?

腰りを張った筋力運動の体操です。0.5〜2.0秒まで10段階に段階可能な腰りを手首や足指に伸ばす、バネに屈してゆっくりと手足を動かしていきます。

体操するとどうなるの?

まず、筋力がつきます。筋力がつくことが、体が軽くなり、動くことが楽になります。また、転倒しにくい体になるので、骨を折って寝てしまうことを防ぐことができます。

毎日体操するの?

いいえ、筋力運動は週2回程度でいいとされています。1回運動をしてから2、3日休んで筋肉の疲れを取った方が、逆に筋力がつきやすくなります。

～参加者の声～

足がふらふらと不安定な状態でしたが、この体操のおかげで、歩くのが楽になりました。

二週間ほどで、腰の痛みが軽減しました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

お尻の筋肉が鍛えられ、歩くのが楽になりました。

住民向け 講話



CATV動画

33



禁煙支援活動

35

職員向け禁煙外来の補助

禁煙治療費の補助
治療メニューの充実の事例

**あなたの禁煙
協会がお手伝いします！** 



たばこ代は高いし...
やめるとストレスがたまる

子どもにも嫌われる
ババくさい！

でもやっぱり禁煙はムリ

一人で頑張ろうとしていませんか！？

「たばこをやめられない」のは**ニコチン依存症**という病気です。
専門医の治療を受けてみませんか？

報告 現在禁煙率100%

参加者は
現在8人
すでに3人が
治療を完了

皆さん順調に
禁煙中

充実コース
(段階的禁煙)
も人気

喫煙中の職員
5人に1人が
参加

禁煙に成功すると
費用の補助金が
もらえる

**特別禁煙外来
今期最終募集
10月10日まで**

初診 10月3日、10日(火)のいずれか 17時30分～
※ 治療内容や費用補助の詳細は
別添のチラシをご覧ください

ご興味がある方は
お気軽にお電話ください。 禁煙外来担当：看護師 山口

36

新しいエビデンスに基づいた禁煙治療のメニューの提供

①標準治療コース（全5回・12週）

- 初診から1週間以内に禁煙開始
- ニコチン切れによる禁断症状を抑えるために禁煙補助薬を使用

保険診療と健保組合の保健事業の組合せ

禁煙

12週間

自己負担分の治療費

2万円

補助額の上限

2万円

実質負担

0円

②追加治療コース（全10回・24週）

- 標準治療コース終了後、12週間の治療を追加

禁煙

12週間

禁煙

12週間

自己負担分の治療費

6.5万円

補助額の上限

4万円

実質負担

2.5万円

③減煙治療コース（全10回・24週）

- 最初の12週間は薬を使って本数を0まで減らし、次の12週間も薬を使って禁煙を継続

減煙

12週間

禁煙

12週間

自己負担分の治療費

6.5万円

補助額の上限

4万円

実質負担

2.5万円

（注）禁煙治療の費用は、協会施設の禁煙外来を受診し、バレニクリンを使用したと仮定して算出。
自由診療部分の費用は、薬剤費のみ本人負担とした。

中村正和, 他. 月刊地域医学 2018; 32 (8) : 687-695

37

台東区立病院職員を対象とした禁煙支援の試み

1. 参加率

22%（9名/41名） 標準コース6名、減煙コース3名

【参考】職域における禁煙外来への参加率

5%-13%（小形ら2007、松澤ら2011、吉野ら2012）

2. 禁煙率（治療終了時、治療終了後3ヵ月）

89%（8名/9名） 標準コース83%、減煙コース100%

【参考】中医協の結果検証（2007、2009年）

禁煙率55-58%（治療終了時）

【考察】

参加率が高かった理由

- ①勤務時間後に治療が受けられる
- ②減煙治療コースの設置
- ③健保組合からの費用補助
- ④健診時の医師からの勧め

禁煙率が高かった理由

- ①治療中の脱落を防止
 - ・職場内での禁煙治療の提供
 - ・脱落防止の声かけ
- ②医師と看護師のカウンセリング
- ③減煙治療コースの設置

学校での喫煙防止教育



39

多職種連携の禁煙クリーン作戦(毎月1回)

病院が組織的に禁煙を支援していることを美化活動を通してPR



職員の感想

- ・地域を知るきっかけになる
- ・住民に「ご苦労様」と声をかけられ嬉しい
- ・吸い殻が増え、コロナ後の生活が元に戻りつつあることを実感

40

食生活改善支援

41

台東病院におけるヘルシー・コンビニ・プロジェクト

【目的】

職員の健康管理、および患者・利用者を含め、地域に向けた健康的な食品と食情報（介護食を含む）の発信拠点となる。

【方法】

1. 組織的な体制づくり
2. 健康的な食事・食品の提供
3. 食に関する情報・教育の提供

健康的な食品を・・・

- ① 全体の50%以上に（品揃え）
- ② 手に取りやすい位置に（陳列場所）
- ③ お得な値段に（価格設定）
- ④ すぐ分かるように（情報表示）

健康的な商品を50%以上に

砂糖を含まない飲料の割合を30%→60%に増やした



砂糖を含まない飲料ゾーン(60%)

- A = 水・お茶・ブラックコーヒーなどの無糖飲料
B = 砂糖不添加野菜ジュース
牛乳・豆乳など

砂糖を含む飲料ゾーン(40%)

- C = 甘いコーヒー・炭酸飲料等

ヘルシーカットを割引価格で



海老のトマトクリームパスタ
& サラダ

696→600円（職員500円）

カップ麺の食塩量を表示



得られた成果

【店舗の売上*】（2019年4月～8月）

・総売上げ  （前年比で平均6%アップ）

ターゲットとした健康的な商品の売上 

サラダ、ヨーグルト、無糖飲料、食塩含有量の少ないカップ麺

【職員の食行動（2018年の事前調査と2020年調査を比較）】

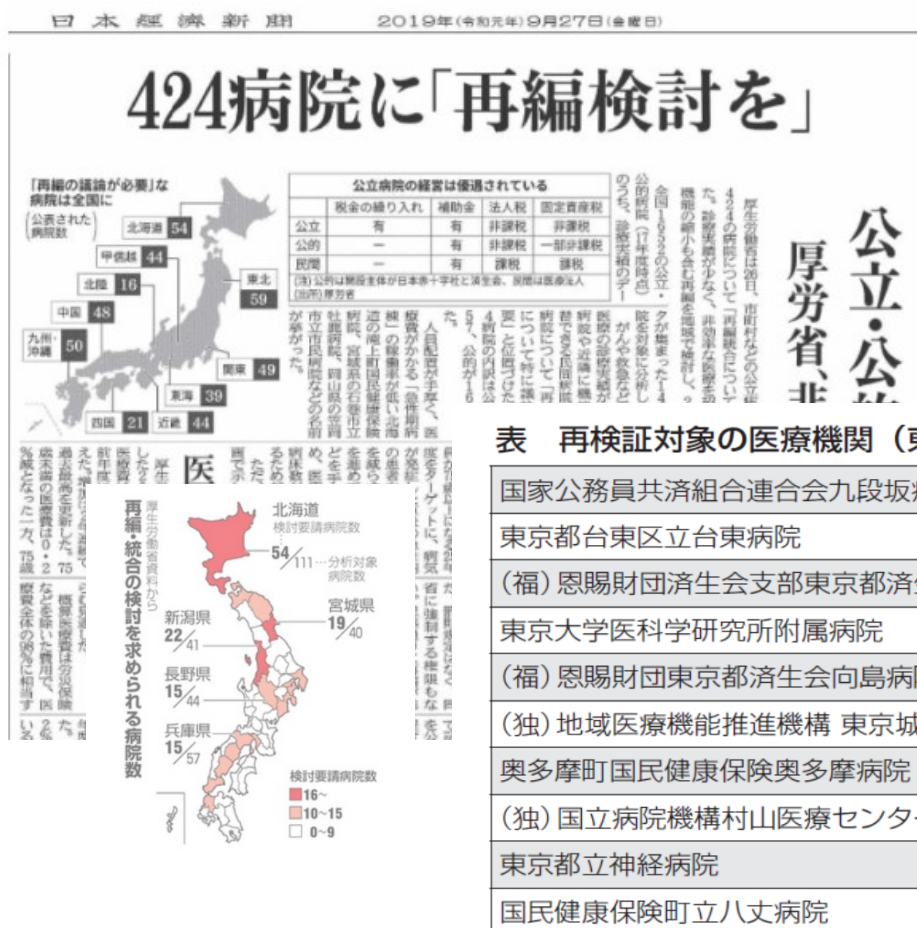
・尿中カリウム排泄量  尿Na/K比 

・適正BMI者の割合 

・果物類、乳製品の摂取量 

・菓子類、加糖炭酸飲料の摂取量 

43



44

公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等に係る経緯

- 地域での役割明確化のため、平成29年3月までに公立・公的医療機関等が先行して「具体的対応方針」策定
・都内では79病院（新公立病院改革プラン：17病院、公的医療機関等2025プラン：62病院）

＜具体的対応方針＞ ①2025年を見据えた構想区域で担うべき医療機関としての役割
②2025年に持つべき医療機能別の病床数

その後、国は、全国の高度急性期・急性期病床の削減率が低く病床数は横ばいで、地域医療構想に沿わないと判断
→ 令和元年9月「再検証要請対象医療機関リスト」公表。令和2年1月「具体的対応方針の再検証」を要請

再検証の基準等

- 急性期医療に関するデータから、A又はBの基準に該当する公立・公的医療機関等について、再検証を要請

A 診療実績が特に少ない

がん、心血管疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣機能の9項目で基準を下回る。

B 類似の実績を持ちかつ近接する医療機関がある

がん、心血管疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6項目全てで該当

- 国の再検証基準では、各病院の特色や周辺の医療資源の状況、へき地等の地域特性は未考慮

都における再検証要請対象医療機関（9病院）

圏域	病院名	圏域	病院名
区中央部	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院	西多摩	奥多摩町国民健康保険 奥多摩病院
	東京大学医科学研究所附属病院	北多摩西部	（独法）人国立病院機構 村山医療センター
	台東区立台東病院	北多摩南部	東京都立神経病院
	社会福祉法人恩賜財団 東京都済生会 向島病院	島しょ	国民健康保険町立八丈病院
区東部	（独法）地域医療機能推進機構 東京城東病院		

再検証の進捗等

- 令和元年度第2回地域医療構想調整会議
・再検証対象9医療機関について、地域又は全国における役割が必要と確認
※「再検証の要否」に係る合意は未了
- 令和2年3月4日付厚労省医政局長通知
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、再検証期限（令和元年度中）の再整理を通知
- 令和3年7月1日付厚労省医政局長通知
・公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等、地域医療構想の実現に向けた今後の工程は、改めて整理の上、示す
- 令和4年3月24日付厚労省医政局長通知
・民間も含め令和4年度及び5年度に検討

地域において担うべき役割

- ・ 地域包括ケア拠点としての役割
 - ・ 在宅療養支援病院としての機能強化
 - ・ 在宅サービス支援の充実
- ・ 地域包括ケアを支える人材の育成
 - ・ 総合診療医研修基幹施設
 - ・ 多職種連携教育
（IPE:Inter professional education）
- ・ 地域ヘルスプロモーション病院としての活動
 - ・ 認知症ケア・フレイル予防・禁煙・生活習慣

2019年9月8日(日)

台東病院・老健千束祭

・多彩な体験型中心のプログラム

9つのブースでの体験、検査やチェック

施設見学、健康チェック、認知症、在宅ケアなど
講演会(認知症、ACP)、町会の踊り

・約300名が来場

一般住民、施設患者・利用者、ボランティア、
区の関係者など

・来場者

「楽しかった」「病院に親しみをもてた」

「地域に大切な病院」と評価

9割が今後も参加を希望

・職員

他部署とのコミュニケーションの強化

ヘルスプロモーション病院としての役割を実感

→部署間・職種間の連携、人材育成

8割が次年度も病院祭のかかわりを希望

台東区立台東病院
老人保健施設千束

「ずっとこの街で暮らし続けたいを応援します」
～祭ぐ・支えあう医療と介護を目指して～

9月8日(日)
11:00 ~ 16:00

健康チェックコーナー
体力や健康状態をチェックしてみませんか。もしかし「フレイル」かも? 元気な体づくりのコツも教えます!
血圧、肺年齢、血管年齢、体力・栄養・咀嚼力チェックなど

禁煙コーナー
すぐに分かる禁煙チェック
クイズに答えてお菓子をもらおう
すわん君も来るよ!!

食べてガッテン・食と健康
食事を見直しませんか?

ボランティア
和太鼓演奏・江戸芸かっぽれ
アロママッサージ体験
(11:00~14:00)

認知症コーナー
クイズに答えて認知症を理解しよう!
認知症相談コーナー設置

施設見学ツアー
薬剤師体験し記念品をもらおう
①12:30~ ②14:00~
先着15名まで

在宅ケア
AEDの使い方
オムツ交換のポイントを教えます
(14:00~15:00)

ベトナム紹介コーナー
技能実習生の紹介
コーヒー飲みながらベトナム文化を学びませんか?

台東区立台東病院
台東区立老人保健施設千束
お問い合わせ先03-3801-1001

祭

入場無料
台東病院内
1階・2階

タイムスケジュール

11:00
山田院長 挨拶

11:30
音楽(ザ・カンファレンス)

12:00
高橋先生 講演
【認知症について】

12:30
江戸芸かっぽれ
(演奏かっぽれ保存会)

13:30
呉先生 講演
【人生会議について】

15:00
音楽(和太鼓)

病院祭にあたっては、多職種でチームを
結成し、職員主体で企画・実施

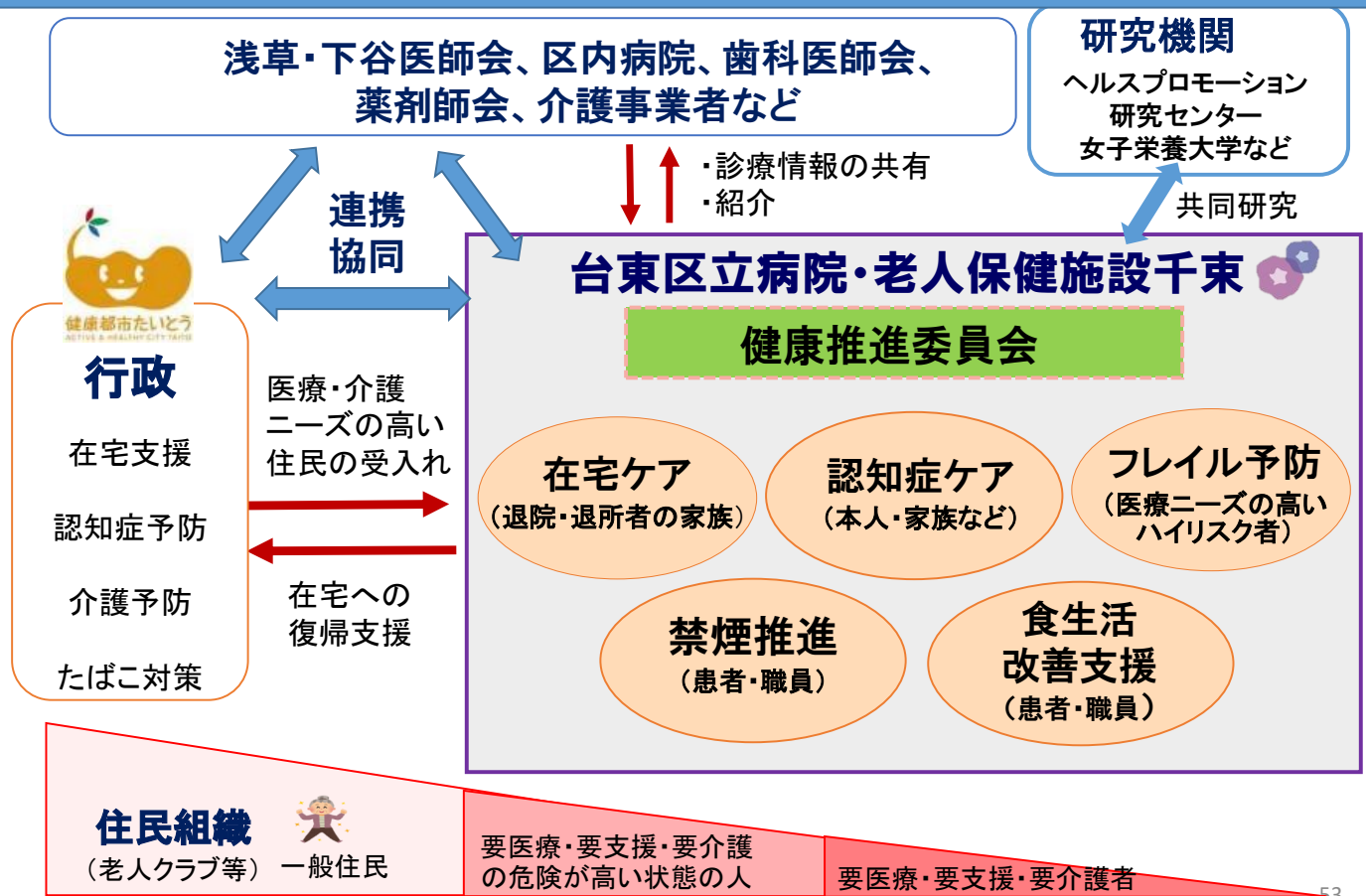
47

～台東病院・老健千束祭～当日の様子～



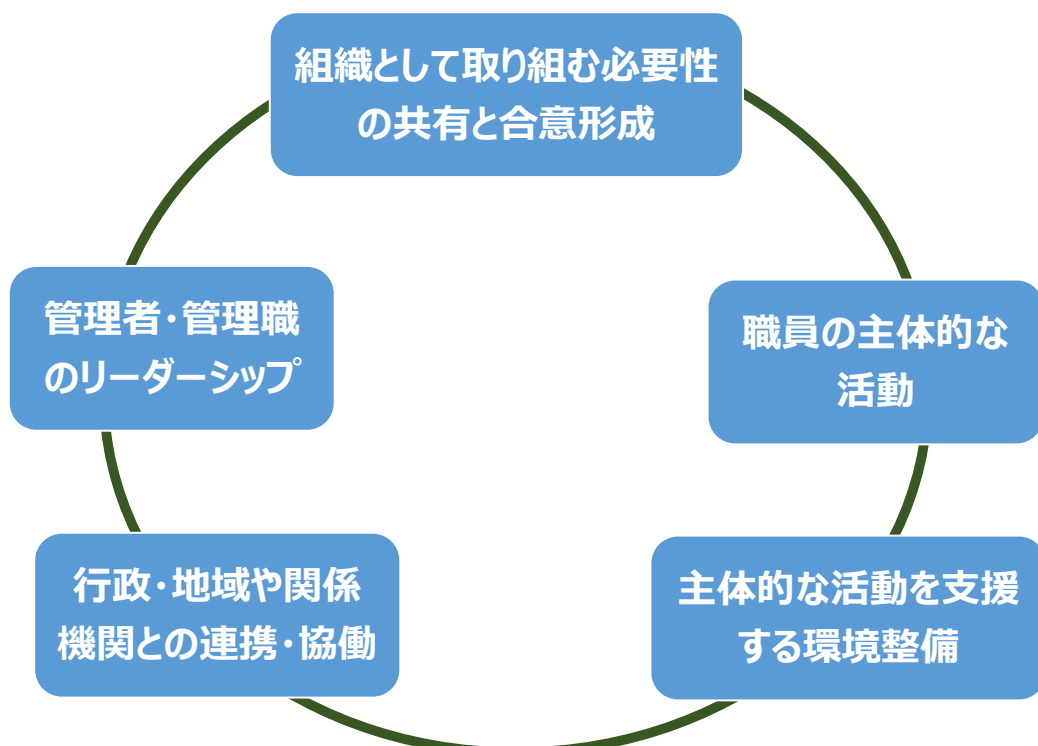
48

ヘルスプロモーション活動 概念図



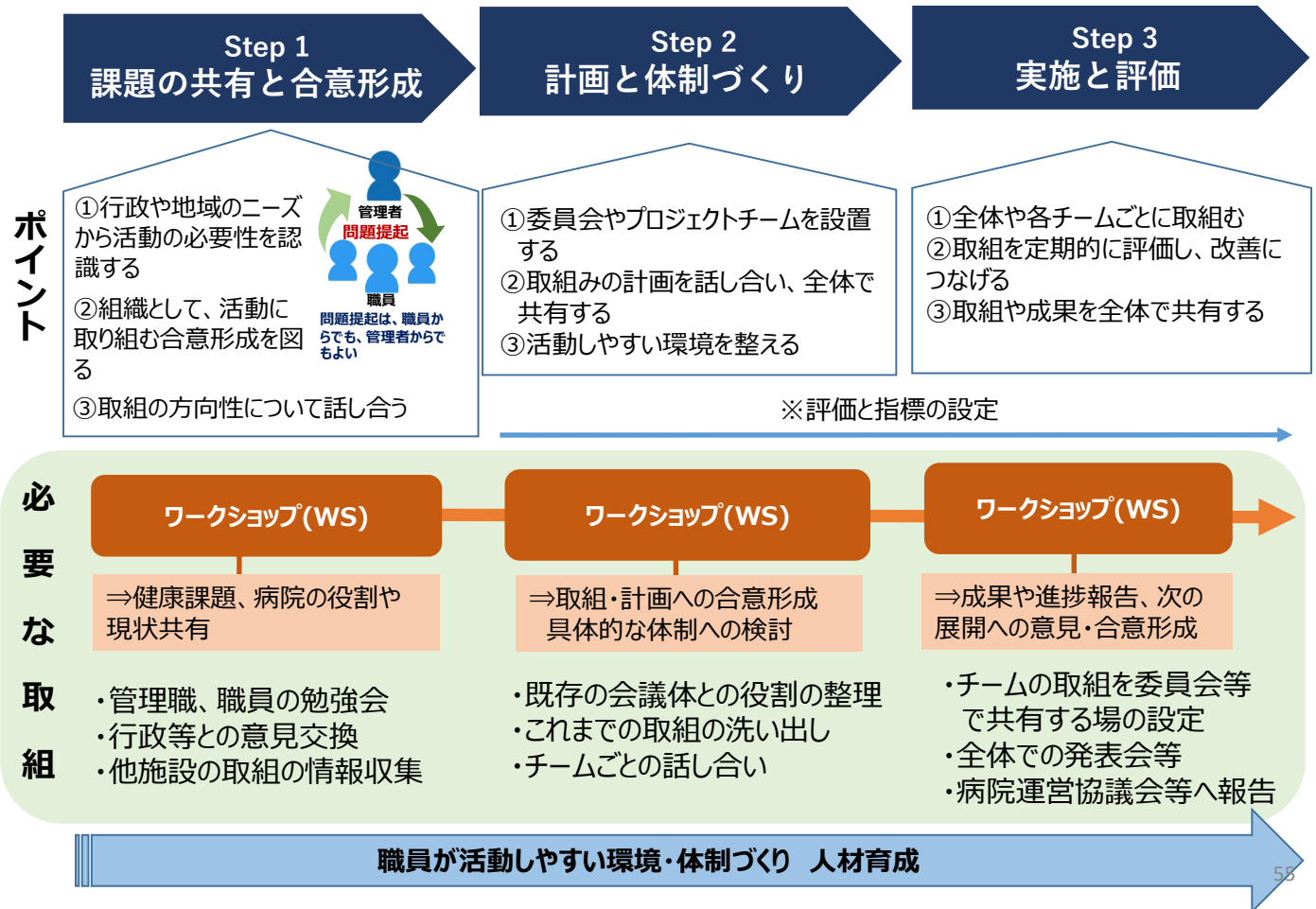
53

地域ヘルスプロモーション病院 実現のための5つの要素



54

地域ヘルスプロモーション病院活動 3つのステップのポイントと必要な取組



地域ヘルスプロモーション病院活動の意義

1 組織内の体制強化と人材育成

2 医療の質向上、患者・利用者のQOLの改善

3 職員の健康増進と活力ある職場づくり

4 地域連携の強化と地域包括ケアの推進

5 地域の健康指標改善と医療費適正化

地域ヘルスプロモーション病院が目指す姿

医療機関内でのヘルスプロモーション活動により、医療の質の改善を図るだけでなく、行政等の地域の関係機関が協働して、地域の人々が健康で元気に安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

医療施設

行政、住民組織等
の関係機関

Clinical Health Promotion

Community-based
Health Promotion



患者と家族、職員



地域住民

57

京都大学との共同研究（今中雄一教授）との共同研究

地域医療振興協会の病院におけるヘルスプロモーション活動調査

目的・対象：地域医療振興協会が運営する**25病院を対象に**、地域医療の質向上を図る一環として、**ヘルスプロモーション活動の実態把握と推進方策検討**するための調査を実施

方法・内容：Microsoft Formsを活用した**Web調査**(2022年4月)

後日、メールや電話により活動内容の詳細を把握(2022年7～8月)

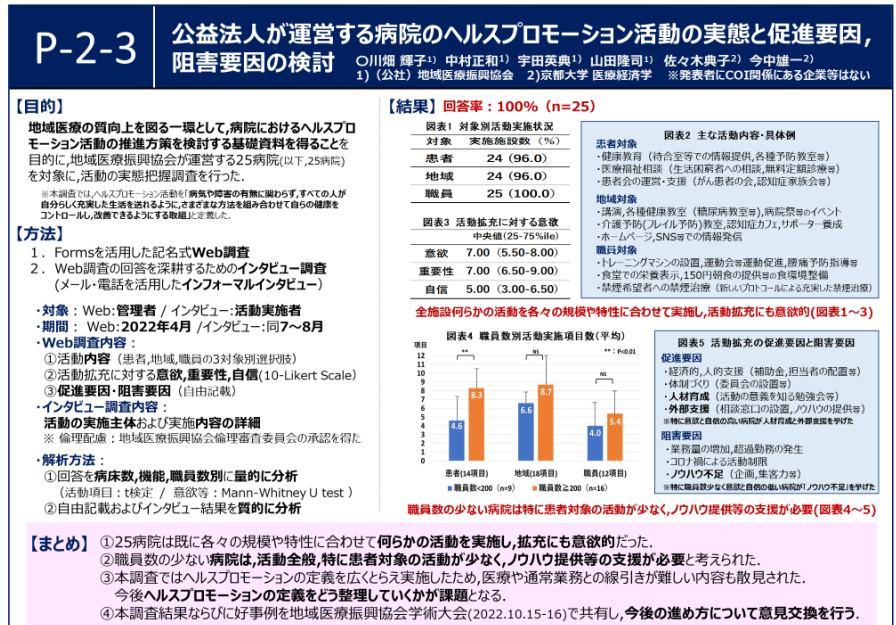
- 結果の概要：
(回答率100%)
- ・全ての病院が、それぞれの規模や地域特性に合った活動を**既に実施**活動拡充に対しても**意欲的**
 - ・**促進要因**は、**経済的支援**、委員会の設置等の**体制づくり**、**人的支援**、**人材育成**（職員が活動の重要性を理解するための研修等）、外部の支援（**相談窓口の設置・教材の提供**等）
 - ・**阻害要因**は、**業務負担**の増加（超勤の発生等）、**コロナ禍**での制限、**人材不足**、**ノウハウ不足**（企画・集客等）、**活動費**（財政的負担）
 - ・**職員数の少ない病院には**、負担なく実施できる**支援が必要**

今後、診療所・老健施設にも調査を実施予定 ⇒活動の見える化と共有を通して取組を促進

第81回公衆衛生学会総会にて発表

公益法人が運営する病院のヘルスプロモーション活動の実態と促進要因、阻害要因の検討

○川畑 輝子¹⁾、中村正和¹⁾、宇田英典¹⁾、山田隆司¹⁾、佐々木典子²⁾、今中雄一²⁾
 1)地域医療振興協会 2)京都大学 医療経済学



59

第14回JADECOM学術大会 No.2-3 公衆衛生委員会セッション

「JADECOM施設におけるヘルスプロモーション活動の推進に向けて」

日時・会場：

2022年10月15日(土) 16:00-17:45 砂防会館 3階 立山

プログラム：

座長 地域医療振興協会 公衆衛生委員会 委員長 宇田 英典

16:00～16:25 調査結果の報告

(ヘルスプロモーション研究センター)

16:25～17:25 事例発表と質疑

事例発表① 患者・地域を対象とした事例

公立久米島病院、東台東区立病院、京ベイ・浦安市川医療センター

事例発表② 地域を対象とした事例

あま市民病院、台東区立病院、十勝いけだ地域医療センター

事例発表③ 職員を対象とした事例

湯沢町保健医療センター、伊東市民病院、あま市民病院

17:25～17:40 全体を通じた意見交換

60

◆患者対象

公立久米島病院

島の文化・風習を取り入れた看護の提供（院内での旧暦行事の開催など）

台東病院

錠剤粉碎を取り巻く問題点～台東病院での薬剤師の取り組み～

東京ベイ・浦安市川医療センター

オンライン母親学級の取組、およびICTを活用した情報発信（情報通信技術の活用）

◆地域対象

あま市民病院

多職種が連携した地域住民へのフレイル予防の取組み

台東区立台東病院

多職種連携による禁煙推進プロジェクト

十勝いけだ地域医療センター

地域住民・商店街・自治体と協同での医療センター夏祭りの開催

◆職員対象

湯沢町保健医療センター

職員に対する「食支援」～職員食とヘルスプロモーション活動～

伊東市民病院

職員への健診結果のフィードバックと特定保健指導対象職員への無料血液検査・評価

あま市民病院

職員への健康増進に対する取組み（スポーツイベントの開催、手作りランチの提供など）

61

地域医療振興協会が目指す地域ヘルスプロモーション病院

職員が健康で、地域ヘルスプロモーション病院活動に取り組むことが、地域包括ケアを推進し、地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現につながる

地域共生社会の実現

地域包括ケアの推進

地域ヘルスプロモーション病院

62

台東病院の基本方針

- 地域包括ケア拠点としての役割
 - 在宅療養支援病院としての機能強化
 - 在宅サービス支援の充実
- 地域包括ケアを支える人材の育成
 - 総合診療医研修基幹施設
 - 多職種連携教育（IPE）
 - 特定ケア看護師
 - 薬剤師レジデント
- 地域ヘルスプロモーション病院活動
 - 認知症ケア・フレイル予防・禁煙・生活習慣

事業継続

施設機能

質向上

人材育成

地域貢献

ご静聴ありがとうございました

63

64